



伝統工芸的製陶産業のデザイン主導の革新
川崎和男氏講演会

2012年

3月21日「水」午後2時—3時半

場所／佐賀県立九州陶磁文化館 講堂

主催／佐賀県陶磁器工業協同組合 共催／有田陶交会 協力／佐賀県立九州陶磁文化館
連絡先／佐賀県陶磁器工業協同組合 TEL.0955-42-3164 FAX.0955-43-2917
Mail info@artiyaki.or.jp http://www.artiyaki.or.jp/

— 入場無料

伝統工芸的製陶産業のデザイン主導の革新 川崎和男氏講演会

デザイナーとしての40年間の活動を通して、

特に伝統工芸産地とのデザイン実務に関わってきた経験から、

産地へのデザイン導入は問題解決の具体的手法だと様々な機会に発言してきました。

今回の講演では、陶磁器技法の時代遅れ、新技術への革新性や産地情報戦略を踏まえて

伝統工芸的製陶産業のデザイン主導の革新について語ります。



川崎和男 Kazuo Kawasaki

デザインディレクター
大阪大学大学院教授・博士（医学）
工学研究科・医学系研究科 教授
名古屋市立大学名誉教授
多摩美術大学客員教授
金沢工業大学客員教授

1949年福井市生まれ 魚座 B型 左右利き
デザインディレクターとして

伝統工芸品からメガネやコンピュータ、ロボット、原子力エネルギー、人工臓器、先端医療、海軍戦略、宇宙空間の装置化などまで幅広く、デザイン活動を行う。具体的には、「全置換型人工心臓の開発」・「ロボティクス基礎デザイン工学」・「原子力小型機器開発のデザイン支援」・「医工連携におけるデザインによる実務支援」等をテーマとし、研究開発、手法開発、その教育と実務に携わっている。

グッドデザイン賞審査委員長など行政機関での委員を歴任。国内外での受賞歴多数。また、ニューヨーク近代美術館など海外の主要美術館に永久収蔵、永久展示多数。

『Newsweek 日本版』の「世界が尊敬する日本人100人」に2度選ばれる。
現在デザインによる世界平和構築をめざして

「Peace-Keeping Design (PKD)」というプロジェクトを提唱。



ステッキ KZ-arita



包丁 artus



キーボード COOL LEAF



カズオカワサキ MP920



鉛筆削り plaschola



血圧計 NISSEI



先端医療機器



iPhone application シリーズ